

子どもがいる家庭では、きっと多くがそうだと思いますが、1年の中で最も大切にしたい日、楽しい思い出にしたい日は「誕生日」ではないでしょうか。1年に1度の特別な日、主役になる日、君がこの世に生まれてきた日！大人になってしまった自分は、誕生日を盛大に祝ってほしい、プレゼントいっぱい欲しい、などとは全く思いませんが、家族、特に子どもの誕生日は、「何をあげたら喜ぶだろう」「好物を用意してあげよう」「〇〇を作るためにあれとこれ買わなきゃ」とまあそれはそれはせわしない。毎回小恒例なので誰もびっくりしないけど、電気を消してのハッピーバースデー♪でケーキの登場…。そのスピリットを受け継いだらいい長男は、弟や妹の誕生日にはこっそりとび出すカードを作ったり、私と合図をし合って電気のスイッチを消したり…してくれ大変役に立っています。口で「生まれてきてくれてありがとう」「愛してるよ」と言うのはなかなか照れくさくできないのですが、誕生日を嬉しくて楽しい日にすることで生まれてきて嬉しい！ことを感じられたら、自分は特別な存在であることを実感してくれたりいいなあと思います。私は40近くなってまた誕生日に お手紙や贈り物をくれる友人が増えて、それは本当に感謝なことだなあとしみじみ思います。誰かが自分のことを覚えてくれ 手紙を書ってくれた、それだけで胸一杯になります。若かりし頃、絶望的な孤独感におそわれて「消えてしまいたい」と思っていた自分に、生きてよかったね、と毛布をかけてあげたいです。だから私もできるだけ周りの大好きな友人達に、「おめでとう！」と「生まれてきてくれてありがとう！」を伝えていきたいと思うのです。誰かのために贈り物を考えたり選ぶ時間もとって楽しいものですよ。何かができるから、ではなくてただそこにいてただ 尊いあなたに乾杯

まきばでひとやすみ。

